

＜サンパウロ＞5-6日



ようこそサンパウロへ



黄色のイペーとブルーゲンピピア



イビラプエラ公園の巨大なゴムの樹



苦しむ者の礼拝堂



リベルダージで沖縄の店が



セーの大聖堂



＜ブラジリア＞7-11日



「締め出された者たちの叫び」の一例



の胸像



正義にSIM、恩赦はNÃO!
軍政クーデターはごめんだ!



LGBTQの方々との対話



ブラジリア. 日系アライアンス教会の祈祷会に参加



若者どうし、話がはずんでいます。



O. ネイマイヤー建造のカテドラル



農業移民の方の家を訪問



2ヘクタールある農地に主に葉野菜を作っているとのこと



聖公会カテドラルでの神学的対話集会



中身の濃い活発な意見交換



通訳アプリが大活躍

<ジョアン・ペソア>12-14日



ブラザー・デビトソン SJの案内でアフリカ大陸に一番近い岬から大西洋を眺める。



イエズス会の司祭館に宿泊

かつてジュニオラードだった施設



土曜日の午後、マンダカルー地区にあるマリア・ガレーガさんの共同体で家庭訪問



2つの大鍋いっぱいのスープを教会員の家庭に配給



ノッサセニョーラ・コンセイソン・ダ・アパレシダ共同体のミサ。マリアさんの孫娘アリセは典礼奉仕役に



毎日曜日の朝、地域の子どもたちに朝食を提供しています。パンとカフェにスイカというシンプルな朝食と一緒にいただいた。



この日はサッカーの試合があったので少人数でしたが、いつも60人ほど集まるとのこと



マンダカルー地区の奥は悪臭が漂う沼地。そこにも極貧の暮らしが



昼食は共同体の信徒の家で愛餐会



日曜日の夜、セルジオ神父の司牧する共同体のミサへ
この日、子どもたちが神父から十字架をさずかる式があった。



<オリンダ>15-17日



オー、リンダ！（なんと美しい）



セーのカテドラルの前で



聖堂にドン・エルデルとH. ネット神父の墓



アルト・ダ・ボンダーヂ・メソジスト教会



祈禱会に参加



ルルーの家庭を訪問、自作の賛美歌
を歌ってくださった。



ゼーザの家庭では、幼かった養女が
美しい娘になっていました。



保育園ジェンチ・ノーヴァでは現在
120名の園児を保育中とのこと



ジャニさんの家で懇談

アルト教会の統合教育プロジェクトは2015年から始まり、貧困家庭の青少年を犯罪や麻薬から守っています。



ギター教室



空手教室は大人から子どもまで大人気



通常の活動日ではなかったため、参加者は半分だった。



保護者との懇談では、この教育プログラムによって子どもたちが自分の人生を積極的に考えるようになり、家族や友だちとの関係にも良い変化が見られると話していました。

<サルバドール>18-21日



18日の夜、トリンダージ共同体のセレブレーションに参加。すべての参加者に開かれたエキュメニカルなミサでした。



1549年イエズス会士マノエル・ダ・ノブレガ神父とアンシエッタ修道士がこのパーハ海岸に着いたという。同年に、日本にはフランシスコ・ザビエルが到着している。壮大な歴史のロマン！

ペロウリンニョ広場でオロダウンのメンバーがバッテリーを打ち鳴らしていた。翌日開催されるイベントの前触れとして





奴隷たちの建てたロザリオ・ドス・プレートス教会を背景にして



家の壁にこんなアートを発見！



ジルライニさんの家に招かれて夕食



19日朝、CESE(エキュメニカル社会事業支援所)を訪問し有益な交流が実現しました。



20日メルセダリア修道会にてシゲ神父の聖書講座に参加



受講者と対話しながら説明していきます。



21日(日)朝の祈禱会



ヨハネ福音書 13章のシンボル



2021年11月に献堂した新会堂



ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会の礼拝に参加。



バーハ灯台



教会が所在する地域



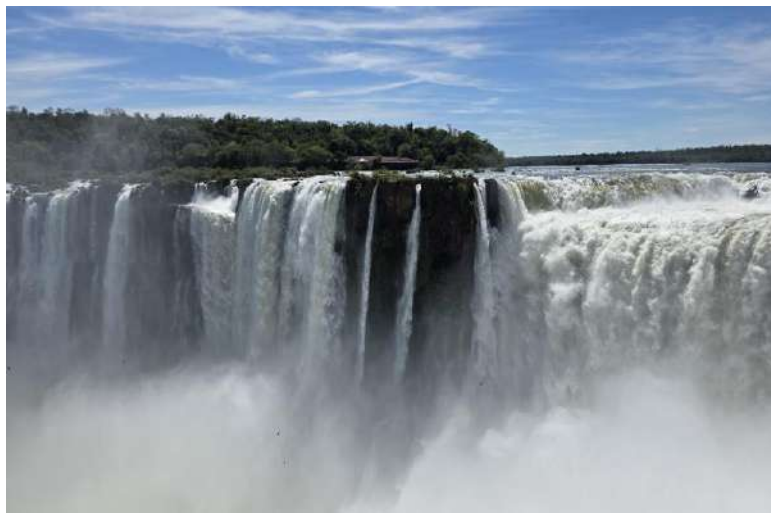
子どもの教会学校の部屋



<イグアスの滝>22-23日



ブラジル側から大瀑布のパノラマを眺める



アルゼンチン側から見た「悪魔ののど笛」、大迫力でした！

<サンパウロ>24-25日



24日朝、MST(土地なき農業労働者運動)の本部を訪問。地階は生産物の売店とカフェテリア



ヴィトリアさんが英語でMSTの過去から現在までの歩みと活動について丁寧に説明



沢山のパンフレットと無農薬のカフェとお米をお土産に頂く



25日午前中、サンパウロ福音教会でデイサービス。シャロームに参加、二人はすっかりくつろいでいるようです。この夜、帰国の途に